

授業科目	担当教員名	単位数	時間数	履修年次・前/後
	専任教員名			2年次/前期
老年看護学方法論 I		1	15	
講義のねらい	1 老年期にある対象の健康の保持・増進に向けた援助の必要性について理解できる。 2 加齢に伴う健康状態の理解を深め老年看護の機能と役割を理解する。			
授業形態	講義・演習	教科書	担当及び時間	
講義内容	1 老年者のヘルスアセスメント 1) 高齢者の機能と評価 (1) 国際生活機能分類(ICF) (2) 高齢者総合機能評価(CGA) (3) 日常生活動作(ADL) (4) 手段的日常生活動作(IADL) (5) 障害高齢者の日常背活自立度判断 (6) 認知症高齢者の日常生活自立度判断基準 (7) 要介護・要支援の認定区分	①②	5	
	2) 高齢者のアセスメントの特徴 3) 身体の変化とアセスメント	①②	2	
	2 老年者の生活を支える看護 1) コミュニケーション (1) コミュニケーション能力 (2) コミュニケーションを促す要素と阻害要因 (3) 高齢者のコミュニケーションの方法 2) 日常生活動作のアセスメント (1) 食生活 (2) 排泄 (3) 清潔、身だしなみ、衣生活 (4) 活動と休息 (5) 性(セクシュアリティ) (6) 社会参加	①②	8	
教科書	① 系統看護学講座 専門分野 老年看護学 (医学書院) ② 系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患論 (医学書院)			
参考文献	1 ナーシンググラフィカ 老年看護学1 高齢者の健康と障害 (メディカ出版) 1 生活機能からみた老年看護過程+病態・生活機能関連図4版(医学書院) 3 必要に応じて資料を配付する。			
評価方法	終講試験 1 1)25点、2)3)25点、2 50点 合計100点			
備考欄	・老年看護学概論を受講していること。 ・講師へのコンタクトについては授業終了後又は終講時に案内する。			